（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人　伍福会　びぃちゃむTRY・びぃちゃむTRY High(放課後等デイサービス)			
○保護者評価実施期間	令和７年　１１月　２０日	～	７年　１２月　３１日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	53	（回答者数）	17
○従業者評価実施期間	令和７年　１１月　２０日	～	令和７年　１１月　３１日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	7	（回答者数）	７年　１２月　３１日
○事業者向け自己評価表作成日	令和８年　３月　６日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども達が楽しめる活動の提供や、イベントの企画実行を行っています。	子ども達の関心を高め楽しいと感じてもらえるような、運動、おもちゃ遊び、工作等の活動を準備しています。また、毎月外出イベントを行い地域の施設を楽しく体験できるようにしています。	子ども達やご家庭に活動やイベントのフィードバックを行い、改善に努めていきます。また、個別支援計画と連動した活動を増やし、成長に繋げていきます
2	いろいろな集団の中でコミュニケーションの練習ができます。	毎日20名ほどの子ども達が来所されるので、年齢別や目的別での集団活動を行っています。活動のなかで、自分の思いを相手に伝えたり、相手の話を聞いて気持ちを考える練習を行っています。	ソーシャルスキルトレーニングを取り入れ、コミュニケーションの練習をした後、実践できる機会を増やしていきます。
3	事前に短期入所の受給者証申請と契約が必要になりますが、法人内の短期入所事業と連動して、お泊り体験ができます。	5年生の宿泊学習、6年生の就学旅行に備えたり、自立活動の一環として、お泊りの経験ができるようにしています。放課後等デイサービスを利用している時に、自分達でやりたいことやスケジュールを考えてもらい、楽しくお泊りができるようにしています。	食事や寝具の準備等の自立に繋がるような活動を取り入れたり、個人個人の目標を立てて達成できるように取り組んでいきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	作業療法士や言語聴覚士など専門職職員がいないため、機能訓練が提供できていないこと。	過去に募集等を行っていましたが、採用に繋がっていません。	今まで通り日常生活動作やコミュニケーションの向上等の支援を行いながら、療育センターや個別療育を行っている事業と連携し、支援内容等を取り入れていきます
2			
3			